

3 ジェンダーの理解

- 3.1 ジェンダーとジェンダー規範の社会構築性
- 3.2 ジェンダー平等、ジェンダーステレオタイプ、ジェンダーバイアス
- 3.3 ジェンダーに基づく暴力

学習目標 (5～8 歳)

キーアイデア：

- ・ 生物学的性とジェンダーの違いを理解することは重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶ ジェンダーと生物学的性を定義し、それらがどのように違うか説明する。(知識)
- ▶ 生物学的性やジェンダーについて、自分がどのように感じているかを考える。(スキル)

キーアイデア：

- ・ 家族、個人、仲間、コミュニティは、性やジェンダーに関する情報源です。

学習者ができるようになること：

- ▶ 性とジェンダーに関する情報源を明らかにする。(知識)
- ▶ 性とジェンダーに関する視点は、多くのさまざまな情報源から影響を受けていることを認識する。(態度)

学習目標 (9～12 歳)

キーアイデア：

- ・ 社会的・文化的規範や宗教的信念は、ジェンダー役割に影響を与える要因でもあります。

学習者ができるようになること：

- ▶ ジェンダー役割を定義する。(知識)
- ▶ 社会規範、文化的規範、宗教的信念がジェンダー役割にどのように影響を与えうるかの例を明らかにする。(知識)
- ▶ 多くの要因がジェンダー役割に影響を与えることを認識する。(態度)
- ▶ ジェンダー役割の捉え方に影響を与えている社会的、文化的、宗教的な信念について考える。(スキル)

キーアイデア：

- ・ それぞれの人が自分のジェンダーについて、自分自身をどう考え、他人に自分をどう説明するかは、それぞれの人で異なりそれぞれに素晴らしく、尊重されるべきです。

学習者ができるようになること：

- ▶ ジェンダーアイデンティティを定義する。(知識)
- ▶ ジェンダーアイデンティティが生物学的性と一致しない場合があることを説明する。(知識)
- ▶ 誰もがジェンダーアイデンティティを持っていることを認める。(態度)
- ▶ 自分のジェンダーアイデンティティを認め、他者のジェンダーアイデンティティへの尊重をはっきりと示す。(スキル)

学習目標 (12～15 歳)

キーアイデア：

- ・ ジェンダー役割やジェンダー規範は人生に影響を与えます。

学習者ができるようになること：

- ▶ ジェンダー規範がどのようにアイデンティティ、欲望、習慣、行動を形成しているかを確認する。(知識)
- ▶ ジェンダー規範がどのように有害になりうるか、どのように人々の選択や行動に悪影響を及ぼしうるかを調べる。(知識)
- ▶ ジェンダー規範に関する信念は、社会によって作られたものであることを認識する。(態度)
- ▶ ジェンダー役割やジェンダーに基づく期待は変化しうることを認識する。(態度)
- ▶ 家庭や学校、コミュニティにおいて、ジェンダーの役割に対してよりポジティブな影響を与えるための行動を日々実践する。(スキル)

キーアイデア：

- ・ 恋愛関係は、ジェンダー役割やジェンダーステレオタイプによってネガティブな影響を受ける可能性があります。

学習者ができるようになること：

- ▶ ジェンダー規範やジェンダーステレオタイプが恋愛関係に与える影響（男らしさと女らしさに関係する両方の規範どちらも）を分析する。(知識)
- ▶ 人間関係における虐待や暴力が、どのようにジェンダー役割やジェンダーステレオタイプと強く結びついているかを例示する。(知識)
- ▶ 人間関係における有害なジェンダー役割やジェンダーステレオタイプの影響を認識する。(態度)
- ▶ 人間関係の中でのジェンダー役割やジェンダーステレオタイプに問題意識を持つ。(スキル)

学習目標（15～18歳以上）

キーアイデア：

- ・ 自分や他者のジェンダーバイアス（ジェンダーの偏見）に挑むことは重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶ 男性、女性、多様な性的指向やジェンダーアイデンティティを持つ人々に対するジェンダーバイアスの例を再認識する。(知識)
- ▶ 自分や他者のジェンダーバイアスが他者にとって有害でありうることを認識する。(態度)
- ▶ 自分自身のジェンダーバイアスのレベルを批判的に評価し、コミュニティ内のジェンダーバイアスを分析する。(スキル)
- ▶ 自分や他者のジェンダーバイアスに対抗するための方策を実際にやってみる。(スキル)

キーアイデア：

- ・ 同性愛嫌悪（ホモフォビア）やトランス嫌悪（トランスフォビア）は、多様な性的指向やジェンダーアイデンティティを持つ人々にとって有害です。

学習者ができるようになること：

- ▶ 同性愛嫌悪とトランス嫌悪を定義する。(知識)
- ▶ 同性愛嫌悪やトランス嫌悪とそれによって起こる悪影響を助長している社会規範を分析する。(知識)
- ▶ すべての人は、暴力、強制、差別のない状態で、愛したい人を愛することができるべきであると認識する。(態度)
- ▶ 同性愛嫌悪やトランス嫌悪に直面している人へのさまざまなサポートを示す方法をやってみる。(スキル)

3 ジェンダーの理解

- 3.1 ジェンダーとジェンダー規範の社会構築性
- 3.2 ジェンダー平等、ジェンダーステレオタイプ、ジェンダーバイアス
- 3.3 ジェンダーに基づく暴力

学習目標 (5～8 歳)

キーアイデア：

- ・ すべての人は、ジェンダーに関係なく、平等に価値があります。

学習者ができるようになること：

- ▶ ジェンダーを理由に、人々がどのように不公平、不平等に扱われうるかを理解する。(知識)
- ▶ 家庭や学校、コミュニティにおいて、ジェンダーの異なる人たちの関係をより公正で平等なものにするための方法を説明する。(知識)
- ▶ 異なるジェンダーの人々を不公平に、不平等に扱うことは間違っており、人権に反するものであると認識する。(態度)
- ▶ ジェンダーの違いにかかわらず、他者の人権を尊重することが重要であることを認識する。(態度)

学習目標 (9～12 歳)

キーアイデア：

- ・ 家族、友情、人間関係、コミュニティ、社会の中には、ジェンダー不平等や力の差が存在する。

学習者ができるようになること：

- ▶ ジェンダー不平等を定義する。(知識)
- ▶ ジェンダー不平等が、家族、友情、コミュニティにおける力の差とどのように結びついているかを説明する。(知識)
- ▶ 人間関係におけるジェンダー不平等や力の差がもたらすネガティブな結果（例：ジェンダーに基づく暴力）を再認識する。(知識)
- ▶ 誰にでもジェンダー不平等をなくす責任があるという信念を育む。(態度)
- ▶ 家庭、学校、コミュニティでの人間関係の中で、ジェンダー平等を促進する方法を示す。(スキル)

キーアイデア：

- ・ ジェンダーステレオタイプは、偏見や不平等につながる可能性があります。

学習者ができるようになること：

- ▶ ジェンダーに関するステレオタイプ（固定観念）やバイアス（偏見）を定義する。(知識)
- ▶ ジェンダーステレオタイプやそれに基づく期待は、ポジティブにもネガティブにも、人々の生き方に強い影響を与えていることを認識する。(知識)
- ▶ ジェンダーによる違いが搾取や不平等な扱いにつながる可能性があること、人々が期待される規範とは異なる行動をとる場合は特にそうであることを認める。(態度)
- ▶ ジェンダー役割の公平性に問題意識を持ち、それらの不公平で有害な慣習に挑む方法を示す。(スキル)

学習目標 (12～15 歳)

キーアイデア：

・ジェンダーステレオタイプやジェンダーバイアスは、男性、女性、そして多様な性的指向とジェンダーアイデンティティを持つ人々をどのように扱うか、また人々の選択に影響を与えます。

学習者ができるようになること：

- ▶ 社会が男性、女性、多様な性的指向やジェンダーアイデンティティを持つ人々をどのように表現しているかを規定する社会規範を再認識する。(知識)
- ▶ ジェンダーバイアスのあらゆる形を例示する。(知識)
- ▶ すべての人を平等に扱うことの重要性を認識する。(態度)
- ▶ ジェンダー規範に従わない人への偏見が、健康を含めた彼らの意思決定の能力に悪影響を及ぼすことを認識する。(知識)
- ▶ ジェンダーバイアスにとらわれずに人と接する方法を示すことができる。(スキル)
- ▶ 自分の価値観が自分の信念やジェンダーバイアスにどのように影響を与えうるかを考える。(スキル)

キーアイデア：

・ジェンダー平等は、性的行動やライフプランに関する平等な意思決定を促進することができます。

学習者ができるようになること：

- ▶ 性的関係の中でのジェンダー平等の特徴を説明する。(知識)
- ▶ ジェンダー役割が性的行動や避妊具の使用、ライフプランの決定にどのように影響するか理解する。(知識)
- ▶ ジェンダー役割をより公平にすることが、より健康的な性的関係にどのように貢献できるかを分析する。(知識)
- ▶ ジェンダー平等が健康的な性的関係の一部である理由を説明する。(態度)
- ▶ ジェンダー平等に基づく関係を築く。(スキル)

学習目標 (15~18 歳以上)

キーアイデア：

・ジェンダー不平等、社会規範、力の差が、性的行動に影響を与え、性的強制、虐待、ジェンダーに基づく暴力のリスクを高める可能性があります。

学習者ができるようになること：

- ▶ ジェンダー不平等や力の差が、性的行動や性的強制、虐待、ジェンダーに基づく暴力のリスクにどのように影響を与えるかを明らかにする。(知識)
- ▶ ジェンダー不平等や力の差が、性的行動、コンドームの使用、性と生殖に関する健康サービスへのアクセスなど、安全な選択をし、行動する能力に影響を与えうることを認識する。(態度)
- ▶ 性的強制や虐待、ジェンダーに基づく暴力に直面した場合、サポートにアクセスしたり、他者がサポートにアクセスするのを助けたりする。(スキル)

3 ジェンダーの理解

- 3.1 ジェンダーとジェンダー規範の社会構築性
- 3.2 ジェンダー平等、ジェンダーステレオタイプ、ジェンダーバイアス
- 3.3 ジェンダーに基づく暴力

学習目標 (5~8 歳)

キーアイデア：

- ・ ジェンダーに基づく暴力とは何か、どこに助けを求めるのかを知ることは重要です。

学習者ができるようになること：

- ▶ ジェンダーに基づく暴力を定義し、さまざまな場所（例：学校、家庭、公共の場）でそれが起こりうることを認識する。（知識）
- ▶ 私たちのジェンダーやジェンダースtereotypeについての考え方が、差別や暴力を含めて他者への接し方に影響を与えていることを理解する。（知識）
- ▶ あらゆる形のジェンダーに基づく暴力は間違っていることを認める。（態度）
- ▶ 学校内やその周辺でのものも含め、自分や知り合いがジェンダーに基づく暴力に直面した場合に、それを話すことのできる信頼できる大人にどのようにアプローチするかを明らかにし、説明する。（スキル）

学習目標（9～12歳）

キーアイデア：

- ・ あらゆる形のジェンダーに基づく暴力は間違った行為であり、人権侵害です。

学習者ができるようになること：

- ▶ ジェンダーに基づく暴力の例（例：いじめ、セクシュアルハラスメント、精神的暴力、ドメスティックバイオレンス、レイプ、女性器切除／切断、CEFM（児童婚・早期婚・強制婚）、同性愛嫌悪による暴力）をあげ、学校、家庭、公共の場、オンラインなど、ジェンダーに基づく暴力が発生する可能性のある場所を特定できる。（知識）
- ▶ あらゆる形のジェンダーに基づく暴力は人権侵害であることを認識する。（態度）
- ▶ 自分や知り合いがジェンダーに基づく暴力に直面している場合や、ジェンダーに基づく暴力に巻き込まれそうな心配がある場合に、信頼できる大人に相談する方法を明らかにし、その方法を示す。（スキル）

キーアイデア：

- ・ ジェンダースtereotypeは、暴力や差別の原因になる可能性があります。

学習者ができるようになること：

- ▶ ジェンダースtereotypeが、いじめや差別、虐待、性暴力をどのように引き起こすかを説明する。（知識）
- ▶ 性的虐待やジェンダーに基づく暴力は、性的欲望をコントロールできないという問題ではなく、権力や支配に関する犯罪であることを説明する。（知識）
- ▶ ジェンダー不平等やジェンダー役割のstereotypeは、ジェンダーに基づく暴力を引き起こすことを認識する。（態度）
- ▶ ジェンダー平等について議論し、ジェンダーに基づく差別や暴力に立ち向かう方法を示す。（スキル）

学習目標（12～15歳）

キーアイデア：

- ・ 大人、若者、権威ある立場にある人々によるあらゆる形のジェンダーに基づく暴力は人権侵害です。

学習者ができるようになること：

- ▶ 親密なパートナーからの暴力やレイプを含め、性的虐待やジェンダーに基づく暴力は、性的欲望をコントロールできないという問題ではなく、権力や支配に関わる犯罪であることを再認識する。（知識）
- ▶ ジェンダーに基づく暴力に気づいてそれを減らすための具体的な方策を立てることができる。（知識）
- ▶ 暴力の傍観者や目撃者は、暴力に介入するための安全な手段を講じることができること、そして彼らもまた暴力の影響を受けると感じるかもしれないことを認識する。（知識）
- ▶ ジェンダーに基づく暴力は大人や権威ある立場にいる人々、若者によって行われる可能性があり、それは常に不当な行為

であることを認識する。(態度)

▶ジェンダーに基づく暴力の予防や、ジェンダーに基づく暴力のサバイバー（被害経験のある人）を支援する、信頼できる大人やサービスへのアプローチ方法を示す。(スキル)

学習目標（15～18歳以上）

キーアイデア：

・親密なパートナーからの暴力は有害であり、それを経験した人へのサポートが存在します。

学習者ができるようになること：

- ▶親密なパートナーからの暴力には、さまざまな形（例：精神的、身体的、性的）があることを認識する。(知識)
- ▶親密なパートナーからの暴力は不当な行為であり、虐待を受けた関係から離れることが可能であることを認識する。(態度)
- ▶この種の暴力に直面している場合、信頼できる大人にどのようにサポートを求めアプローチするかを示す。(スキル)

キーアイデア：

・ジェンダー平等の実現を呼びかけ、性的虐待や有害な慣習、ジェンダーに基づくその他の暴力といった人権侵害に対して声を上げる責任が、すべての人にあります。

学習者ができるようになること：

- ▶ジェンダー平等を促進し、ジェンダーに基づく暴力を減らすことに成功した活動の具体例を分析する。(知識)
- ▶オンラインを含む公的またはプライベートの場で、人権侵害やジェンダー不平等に対して異を唱えることの重要性を認める。(態度)
- ▶ジェンダー平等とジェンダーに基づく暴力の撲滅を提唱する。(スキル)